

備前市事務事業評価表

事務事業名	簡易水道事業管理運営事業		コード	01-01-09-03
			担当課・係	水道工務課吉永分室
			担当者	野坂俊哉
事業実施期間			電話	0869-84-2811
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	上水道及び簡易簡易水道		

事業について	
目的 (何のために)	水道水としての水質基準に適合する水を供給するため、平素から水源の水質管理を定期的を実施する。また、既存の施設、配水管路の点検及び、修繕・施設更新等維持管理を行い、安全・良質・安価な水道水の安定供給を図る。
対象 (誰・何を対象に)	簡易水道地区（三国東部・高田・飯掛・大股・寺山地区）水道使用者（給水人口403人、給水戸数158戸）
内容	水道基準（水道法第4条）に適合した水の供給、水道施設の監視・点検・修繕等維持管理、水道料金賦課徴収

事業の結果				
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)	
配水量	39,232 m <sup>3</sup>	35,268 m <sup>3</sup>		
施設更新、修繕件数	11 件	11 件		
水質検査	12 回	12 回		
料金賦課件数	1,481 件	1,241 件		
給水人口	395 人	403 人		
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 30,938 人件費 12,199	間接補助金等 受益者負担 14,097 市債	直接事業費 27,928 人件費 5,967	間接補助金等 受益者負担 5,907 市債
	合計 43,137	一般財源等 29,040	合計 33,895	一般財源等 27,988
			合計 0	一般財源等 0
必要人員	1.41 人	0.73 人		
結果指標 ①	結果指標名	配水量	配水量	
	結果指標量	39,232	35,268	
	単位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
	対前年比	-	89.90%	
	活動にかかるコスト	43,137,000 円	33,895,000 円	
単位当たりコスト①	1,100 円	961 円		
結果指標 ②	結果指標名	給水人口	給水人口	
	結果指標量	395	403	
	単位	人	人	
	対前年比	-	102.03%	
	活動にかかるコスト	43,137,000 円	33,895,000 円	
単位当たりコスト②	109,208 円	84,107 円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	水質・供給量等を維持しつつ、単位当たりのコストを減少させる。		
成果指標名	1m <sup>3</sup> 当り供給コスト	式又は説明	事業費/配水量
	17年度	18年度	
成果指標量	1,100	961	
対前年比	-	87.36%	0.00%
到達目標値	900	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 水道法	妥当性評価<A~E> A 課題認識 水質の安全確保と施設の維持管理は、住民の生活と健康に直結するもので、欠かす事のできないものであるため妥当である。
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい	
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識 今後の施設老朽化に伴う修繕・更新等にかかる事業費用の増加はやむを得ないため、施設・水質点検等の地元の人への委託や水質自動監視装置等を設置することにより人件費削減を図る必要がある。
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識 飲料水を衛生的かつ安定して供給するという施設の目的を考えれば、最低限の施設改良、整備は行わなければならない。点在する施設の統合や効率的な運営方法を探究していく必要がある。
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 施設の老朽化に伴い施設整備・修繕等の必要性が出てきており、長期計画をのりながら計画的にメンテナンスを実施していく。
目標値	結果指標量① 35,000m <sup>3</sup>	結果指標量② 400人	
成果指標量	950		

総合評価	施設の修繕を行い、点検、水質の検査等を定期的実施した結果、住民への安全な水質と安定供給が確保できた。今後も施設老朽化に伴い施設整備、修繕にかかる費用の増加が見込まれているが、水質監視装置や施設の統合により長期的なライフサイクルコストを考慮した総事業費のコスト削減を図る。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	より高度な水質の確保	平成23年度	安全・良質な飲料水は確保されているがコストの増大が懸念される。
効率性	残留塩素測定を地元の人に委託する。	平成23年度	人件費の50%削減
有効性	地元の人に点検パトロール等をお願いする。	平成23年度	漏水量の減少